



案

平賀駅周辺まちづくり基本構想

concept of 'PARK LIFE'

【概要版】

基本構想の概要

背景と目的

住み続けたいまち、訪れたくなるまちの再生

平賀駅周辺は、さまざまな機能・施設が集積する当市の顔ですが、人口減少や少子高齢化、公共交通の利用者減少、低未利用地の点在などにより、かつての賑わいが失われつつあります。

このような背景から、地域の魅力や価値を高め、世代を超えて交流できる空間の創出により、「住み続けたいまち」「訪れたくなるまち」として再生させることが本構想の狙いです。

構想の位置づけ

平川市の将来像の実現と活性化を支える

本構想は、行政運営における最上位計画である「第2次平川市長期総合プラン」や「平川市都市計画マスター プラン」の下位計画として位置づけられることから、整合を図りながら、まちづくりの方針等を定めます。

また、みらい戦略事業として推進している「食農観の活性化拠点整備」、「企業誘致戦略プラン」、「スマートインターチェンジ整備」と連携することで、効果の最大化を目指します。



かつてのにぎわい
(昭和55年 駅前歩行者天国)



現在(令和7年 駅前通り)

第2次平川市長期総合プラン後期基本計画（令和4年3月） 「あふれる笑顔 くらし輝く平川市」

↓ 即す

平川市都市計画マスター プラン（令和8年3月）

平川市立地適正化計画
(令和8年3月)

平川市地域公共交通計画
(令和3年3月)

↑ 整合・連携

平賀駅周辺まちづくり基本構想

↑ 連携

「食・農・観の活
性化拠点」整備

↑ 連携

企業誘致
戦略プラン

↑ 連携

スマートインター
ーチェンジ整備

「選ばれるまち、平川市」の実現に向けた4つの柱

基本構想の概要

対象エリア

平賀駅を中心とした半径約1km圏

平賀駅前には小売・飲食・サービス業を主とした商業が集積しているほか、その周辺には市役所や金融機関、公園、商業施設等、生活関連施設が数多く立地することから、平賀駅を中心とした半径約1km圏を対象エリアとします。

当該エリアはまちの中心市街地としての役割もあることから、基本構想の検討に当たっては、広域・市域の視点から対象エリア外の主要な施設や拠点についてもつながりや連携について検討を行います。

計画期間

概ね10年後の2035年（令和17年度）が目標年次

「平賀駅周辺まちづくり基本構想」の計画期間は、次期平川市長期総合プランの計画期間や、平川市都市計画マスタープランと平川市立地適正化計画の見直し時期などを考慮し、概ね10年後の2035年（令和17年度）を目標年次とします。

計画期間中の社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて適宜、計画の見直しを行います。

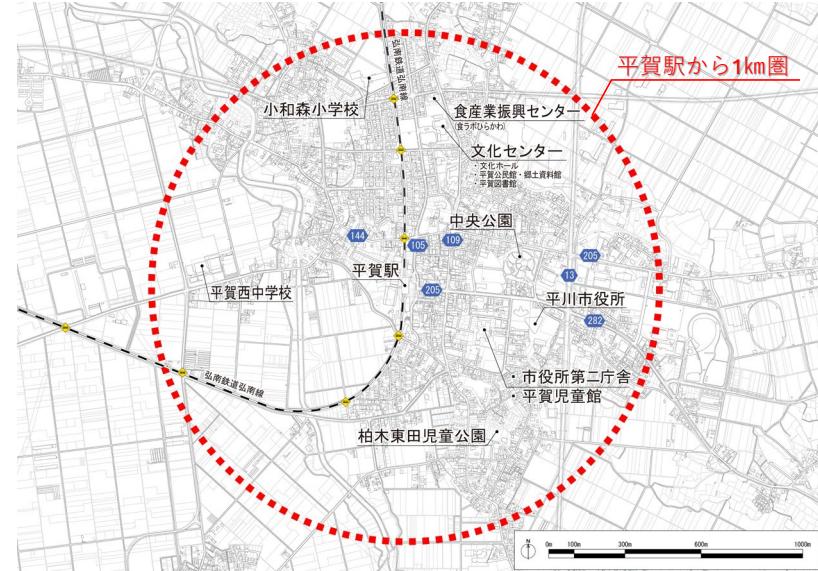


図 基本構想の対象エリア

【出典】国土地理院発行2.5万分1地形図を加工して作成

2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)	2035 (R17)	2036 (R18)
--------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

第2次

第3次平川市長期総合プラン（R9～R18）

平川市都市計画マスタープラン（R8～R27）

平川市立地適正化計画（R8～R27）

現計画

平川市地域公共交通計画（R10～R19）

平賀駅周辺まちづくり基本構想（R8～R17）

まちづくりビジョン

まちづくりのコンセプト

PARK LIFE

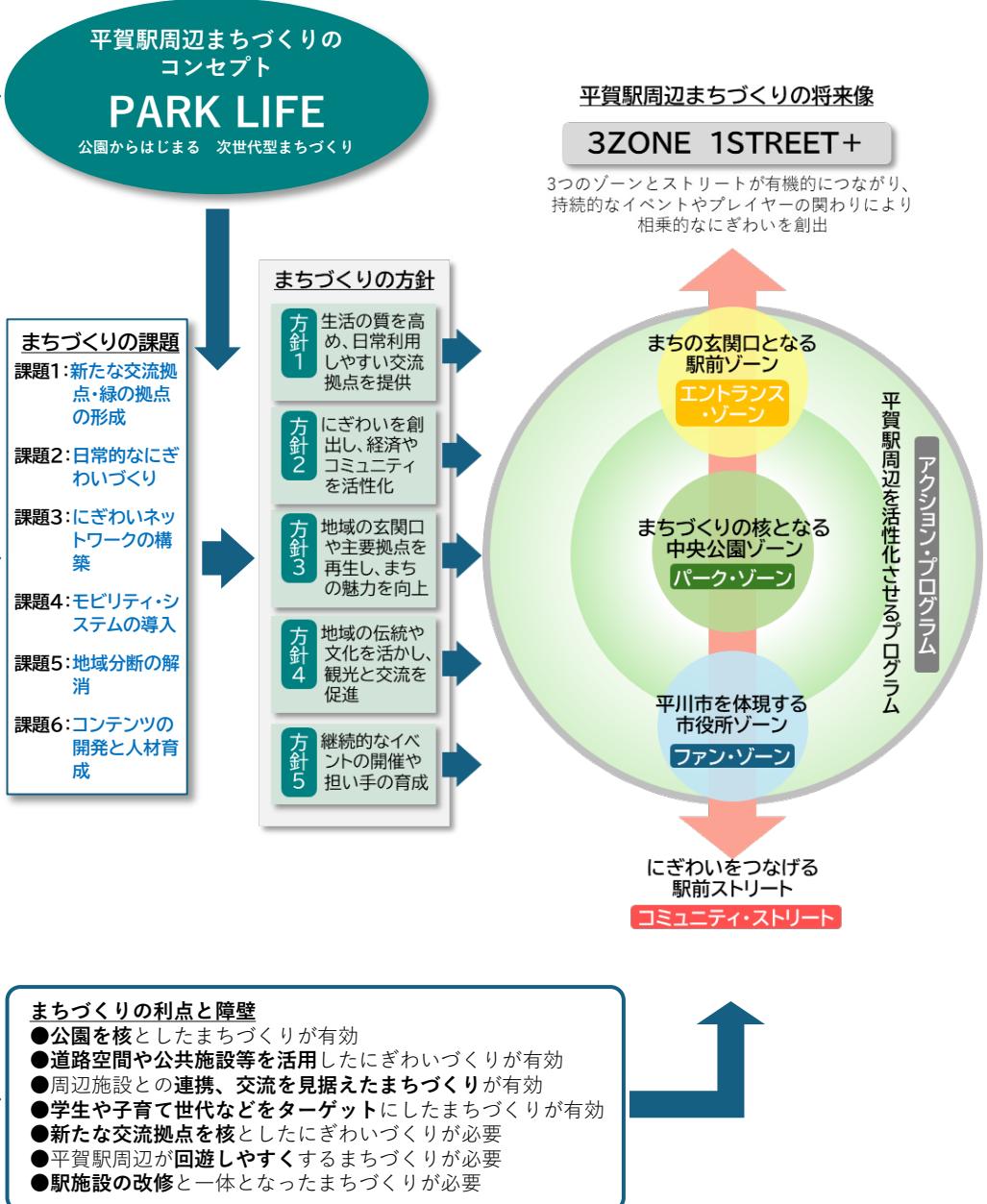
～公園からはじまる 次世代型まちづくり～

「公園」はまちの幸福度を象徴する存在です。

誰もが気軽に立ち寄り、思い思いに過ごせる公園のような空間と時間をまちなか全体へ広げていくことで、平川市全体の幸福度を高めるまちづくりを目指します。

公園には、世代や立場の違いを超えて人が集まり、くつろぎ、ふれあい、そして新しい活動が自然と生まれる力があります。「PARK LIFE」は公園が持つ価値をまち全体のデザインに取り込み、暮らし・働き方・学び・文化・交流など様々な場面に“公園的な余白と豊かさ”をもたらす考え方です。

こうした理念を基盤とする平賀駅周辺まちづくり基本構想は、平川市の未来に向けた挑戦です。10年後には平川市民が誇りを持ち、訪れるすべての人がわくわくする気持ちになれるまちへと進化させていきます。



基本目標

パーク・ゾーン
目標1 心と体を休めリラックスを提供
目標2 人々が遊び、交流、運動、文化活動を楽しむ空間を提供
目標3 人々が交わり、滞在する空間を提供

リラクゼーション・エリア	居心地のよい休憩施設や快適な散策路、屋外のコワーキングスペースなどの整備、定期的なイベントの開催など
レクリエーション・エリア	遊具広場の拡充、若者向けのスポーツ施設の整備、季節を問わず楽しめるレジャー施設の整備など
コミュニティ・ハブ	カフェなどの飲食施設やイベントができる広場、芝生広場、シェアモビリティの乗換施設の整備など

エントランス・ゾーン
目標1 まちの玄関口となり、駅東西の結節性向上
目標2 まちなかの飲食や娯楽の中心拠点化

ゲート-エリア	平賀駅前の空き店舗を活用したカフェやフリースペースの整備、駅前広場における植栽や照明、休憩施設の整備、平賀駅の東西自由通路の整備など
エンターテイメント-エリア	空き店舗などを活用した複合型商業施設や宿泊施設の整備、平川市の特産品の開発と販促など

ファン・ゾーン
目標1 様々な市民活動や文化の震源地
目標2 伝統・文化的な観光の入口

シビック・コア	からっと広場に季節を問わず使えるイベント施設、水景施設、植栽の整備、週末イベントの開催、市庁舎を活用したアクティビティなど
フェスティバル・コア	ねぶた展示館の改修により郷土芸能、歴史・文化に触れ、体験・参加できる施設の整備など

コミュニティ・ストリート
目標1 各ゾーンをつなぎ、循環を促す動線の確保

タウン-リンク	駅前通り沿道のポケットパークの改修や路肩を利用したパークレットの整備、公営駐車場を活用した緑地公園の整備、夜間でも歩きたくなる道路空間の演出など
---------	--------------------------------------------------------------------------

アクション・プログラム
目標1 イベントや市民活動の継続性向上
目標2 様々な活動や企画、運営に寄与する人材の育成

アクティビティ-プラン	年間イベントスケジュールの策定、官民連携による共催イベントの開催、ボランティアなどによる地域協働管理モデルの構築など
トレーニング-プラン	市民団体によるトライアル出店、実証プログラムの企画・運営に関する研修、プレイベントの開催など

図 平賀駅周辺まちづくり基本構想 施策体系図

PARK LIFE

～公園からはじまる 次世代型まちづくり～

(3ZONE 1STREET+)

まちの顔となる
エントランス・ゾーン

まちの玄関口、駅東西が結節する拠点
ゲート・エリア

まちなかの飲食や娯楽の中心拠点
エンターテイメント・エリア

交流・体験を広げる
アクション・プログラム

イベントや市民活動の継続性向上
アクティビティ・プラン

様々な活動に寄与する人材の育成
トレーニング・プラン

住民目線のにぎわいと癒しを提供するパーク・ゾーン

心と体を休めリラックスするエリア

リラクゼーション・エリア

人々が遊び、交流、運動、文化活動を楽しむエリア

レクリエーション・エリア

人々が交わり、滞在するエリア

コミュニティ・ハブ

平賀駅

駅前通り

ふらっと
広場

平川市役所

平川診療所

平賀児童館

ねぶた
展示館

緑とにぎわいをつなぐ
コミュニティ・ストリート

各ゾーンをつなぎ、循環を促す動線
タウン・リンク

にぎわいと伝統が融合
するファン・ゾーン

様々な市民活動や文化の震源地

シビック・コア

伝統・文化的な観光の入口

フェスティバル・コア



0m

100m

200m

300m

図 平賀駅周辺まちづくりのコンセプトと将来像

【出典】国土地理院発行2.5万分1地形図を加工して作成



目標を実現するための取組

パーク・ゾーンの取組の方向性

既存公園の改修と新たなにぎわいづくり



飲食施設



イベント広場



シェアモビリティ乗換施設

人々が遊び、交流、運動、文化活動を楽しむエリア
レクリエーション-エリア

人々が交わり、滞在するエリア
コミュニティハブ

カフェなどの飲食施設やイベントができる広場、芝生広場、シェアモビリティの乗換施設の整備など

心と体を休めリラックスするエリア
リラクゼーション-エリア

居心地のよい休憩施設や快適な散策路、屋外のコワーキングスペースなどの整備。定期的なイベントの開催など



休憩施設



コワーキングスペース



散策路

※各取組はイメージです

0m 25m 75m 150m

目標を実現するための取組

エントランス・ゾーンの取組の方向性

駅前空間の改修と商業開発

平賀駅前の空き店舗を活用したカフェやフリースペースの整備、駅前広場における植栽や照明、休憩施設の整備、平賀駅の東西自由通路の整備など



コミュニティ施設



駅前広場



東西自由通路



シェアモビリティ乗換施設

平賀駅
まちの玄関口、
平賀駅東西が結節する拠点
ゲート-エリア
駅前広場

まちなかの飲食や娯楽の中心拠点
エンターテイメント-エリア

空き店舗などを活用した複合型商業施設や宿泊施設の整備、平川市の特産品の開発と販促など



複合型商業施設



宿泊施設



特産品の開発・販促

0m 25m 75m 150m

【出典】国土地理院発行2.5万分1地形図を加工して作成

目標を実現するための取組

ファン・ゾーンの取組の方向性

ふらっと広場と観光施設のリニューアル

ねぶた展示館の改修により郷土芸能、歴史・文化に触れ、体験・参加できる施設の整備など



※観光・交流施設の整備場所や整備内容については、市民や民間事業者等との十分な検討・調整が必要です。



ふらっと広場

様々な市民活動や文化の震源地

シビックコア

平川市役所

伝統・文化的な観光の入口

フェスティバルコア

ねぶた展示館

※各取組はイメージです

ふらっと広場に季節を問わず使えるイベント施設、水景施設、植栽の整備、週末イベントの開催。市庁舎を活用したアクティビティなど



コミュニティ・ストリートの取組の方向性

道路と沿道の一体化と道路空間の再編

モビリティ・ハブ パーク・ゾーンへ

各ゾーンをつなぎ、循環を促す動線
タウン-リンク

駅前通り沿道のポケットパークの改修や路肩を利用したパークレットの整備、沿道の公営駐車場を活用した緑地公園の整備、夜間でも歩きたくなる道路空間の演出など



モビリティ・ハブ

ふらっと広場

ファン・ゾーンへ

モビリティ・ハブ

凡例

↔ : 行歩者動線

↔ : モビリティ動線

エントランス・ゾーンへ

0m 25m 75m 150m

※各取組はイメージです

【出典】国土地理院発行2.5万分1地形図を加工して作成

目標を実現するための取組

アクション・プログラムの取組の方向性

地域との共創によりつながりと人材を育む

市民団体によるトライアル出店、実証プログラムの企画・運営に関する研修、プレイベントの開催など

トライアル出店

研修

年間イベントスケジュールの策定、官民連携による共催イベントの開催、ボランティアなどによる地域協働管理モデルの構築など

年間イベントスケジュール

官民共催イベント

地域協働管理モデル

協働管理

住民

事業者

行政

イベントや市民活動の継続性向上
アクティビティ-プラン

様々な活動に寄与する人材の育成
トレーニング-プラン

※各取組はイメージです

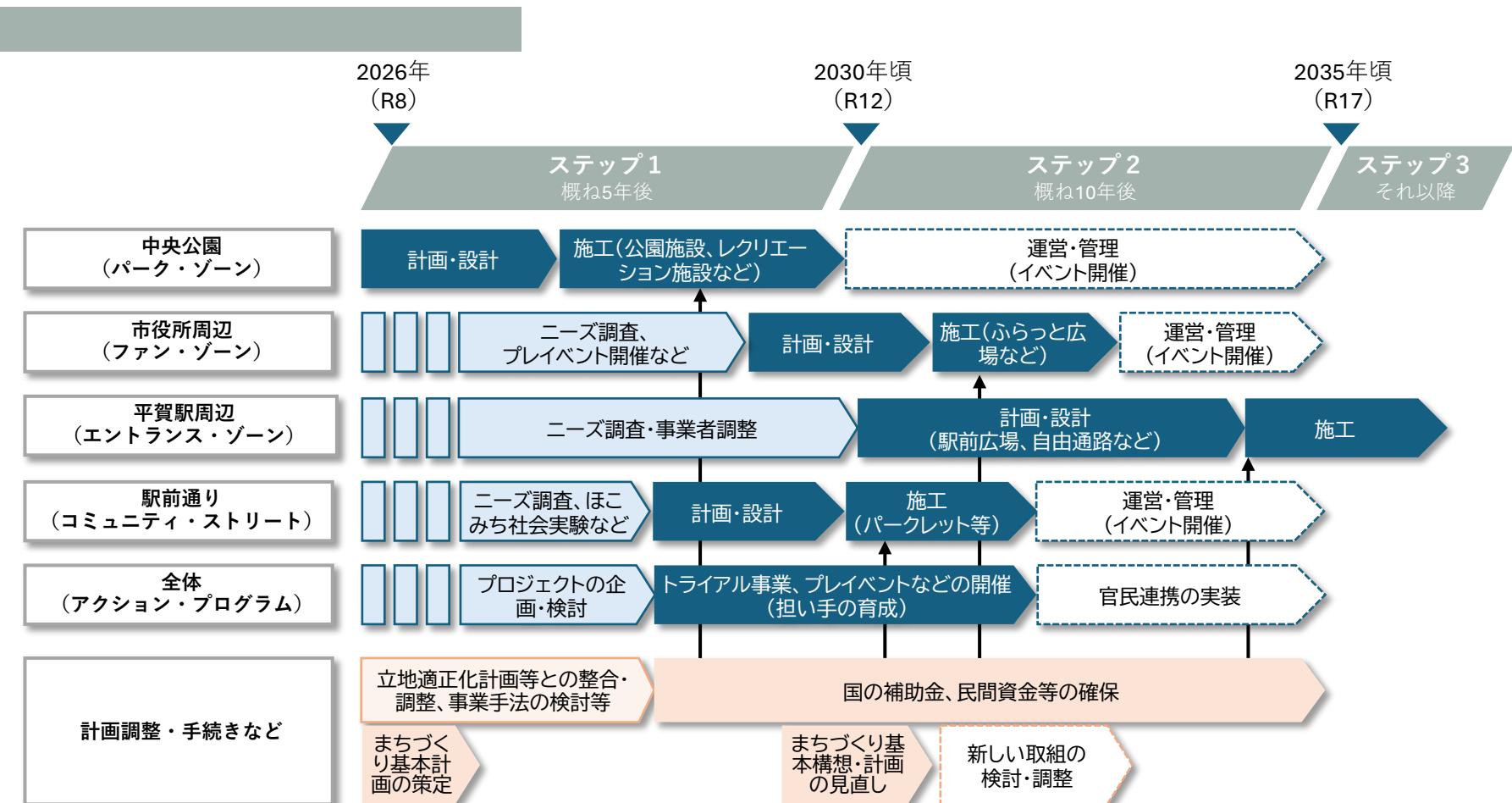
【出典】国土地理院発行2.5万分1地形図を加工して作成

0m 25m 75m 150m

目標を実現するための取組

実現に向けたシナリオ

公園からはじまる 概ね10年間のシナリオ



目標を実現するための取組

実現に向けたシナリオ

ステップ1の主な取組（各ゾーン・ストリートの整備に向けて進めておくべきソフト施策）

①まちの将来像の周知

ワークショップやニーズ調査、イベント等を通じて、まちの将来像を地域の方々と共有します。

②地域住民・来訪者向けイベントの企画・試行

既存イベントの拡大を含め、新たなイベントの企画を行うとともに、プレイベントや社会実験を実施します。

③個別施策の選定・計画づくり

アンケート調査や社会実験等を行い、使われ方やニーズを捉えた個別施策の選定と計画づくりを進めます。

④公共空間の利活用に関する仕組みづくり・再構築

社会実験や民間事業者との対話を通じて、公園や道路等の公共空間の利活用に関する仕組みづくり・再構築（運営・維持管理、占用等）を進めます。

⑤運営人材・市民協働組織の育成

住民・事業者・行政の連携により、地域で活躍できる人材の育成を行います。

⑥関係部署の連携

関連する観光・交通・都市計画等との整合を図り、組織横断的な推進体制を構築します。



Fin....